

# 社会保障研究所 3 年の歩み

## 目 次

|               |              |
|---------------|--------------|
| I 設立経過        | 5 第Ⅳ研究会      |
| II 人の動き       | 6 第Ⅴ研究会      |
| III 顧問会および役員会 | 7 第Ⅵ研究会      |
| IV 部門別研究会     | 8 政策研究会      |
| 1 合同研究会       | V 研修・シンポジウム等 |
| 2 第Ⅰ研究会       | VI 出版物       |
| 3 第Ⅱ研究会       | VII その他      |
| 4 第Ⅲ研究会       |              |

## I 設 立 経 過

37. 8.22 社会保障制度審議会が「社会保障制度の総合調整に関する基本方策についての答申および社会保障制度の推進に関する勧告」において、社会保障制度を計画的組織的に確立するため、有力な調査、研究機関の設置を提唱。
39. 1.24 厚生省、社会保障研究所法案要綱を社会保障制度審議会に諮問。
- 1.30 社会保障制度審議会が社会保障研究所法案要綱について了承の旨の答申。
- 2.18 社会保障研究所法案国会提出（付託）。
- 2.20 衆議院社会労働委員会において提案理由説明。
- 3.10 参議院社会労働委員会において提案理由説明。
- 5.14 衆議院社会労働委員会において質疑。
- 5.20 同 上
- 5.21 同 上
- 5.26 同 上
- 26 法案を一部修正，可決し，付帯決議を付す。
- 26 衆議院本会議において修正可決，参議院へ送付。
- 6.16 参議院社会労働委員会において質疑。
- 6.25 同 上
- 25 法案衆議院送付どおり可決し，付帯決議を付す。
- 6.26 参議院本会議可決，成立。
7. 7 社会保障研究所法（昭和39年法律第156号）公布施行。
10. 1 社会保障研究所法第12条第2号の教育公務員の範囲を定める政令（昭和39年政令第322号）が制定された。
- 1 社会保障研究所設立準備事務局を厚生省大臣官房企画室に置く。
- 11.24 社会保障研究所長たるべき者として，一橋大学教授山田雄三が厚生大臣の指名を受けた。
- 24 社会保障研究所設立委員がつぎのとおり任命された。
- 高田浩運（厚生事務次官），石野信一（大蔵事務次官），松村敬一（経済企画事務次官），吉国一郎（内閣法制次長），大内兵衛（社会保障制度審議会会長），東畑精一（アジア経済研究所所長），長沼弘毅（厚生行政顧問，国際ラジオ・テレビセンター会長），山田雄三（一橋大学教授）
- 12.16 社会保障研究所法施行規則（昭和39年厚生省令第45号）が制定された。
- 16 社会保障研究所の財務及び会計に関する省令

- (昭和 39 年厚生省令第 46 号) が制定された。
12. 17 社会保障研究所の設立委員会を開催し、社会保障研究所定款等を決定した。
12. 21 社会保障研究所監事たるべき者として、慶応義塾大学教授寺尾琢磨が大臣指名を受けた。

12. 27 社会保障研究所定款が厚生大臣から認可された。
40. 1. 11 社会保障研究所の設立登記を完了、同日をもって発足した。

## Ⅱ 人の動き

40. 1. 11 社会保障研究所役職員として、つぎの者が発令された(括弧内は現職)。

◎理事 塩野谷九十九(名古屋大学教授)

◎顧問 大内兵衛(社会保障制度審議会会長), 東畑精一(アジア経済研究所所長), 長沼弘毅(厚生行政顧問, 国際ラジオ・テレビセンター会長)

◎参与 馬場啓之助(一橋大学教授), 福武直(東京大学教授), 舘 稔(厚生省人口問題研究所所長)

◎専門委員 武藤光朗(中央大学教授), 大熊一郎(慶応大学教授), 橋本正己(国立公衆衛生院衛生行政学部長), 小沼正(厚生省統計調査部社会統計課長)

◎非常勤研究員 地主重美(小樽商科大学助教授), 青井和夫(東京大学助教授), 森岡清美(東京教育大学助教授), 安川正彬(慶応大学助教授), 松原治郎(東京学芸大学助教授), 小野 旭(神奈川大学講師)

◎事務局 総務部長加地夏雄, 庶務係長鈴木真二, 村松さち子(以上厚生省より転出), 鹿島昭進

2. 1 社会保障研究所専門委員として慶応大学教授中鉢正美が発令された。
- 1 社会保障研究所総務部調査係長として田中忠雄(長野県より転出)が発令された。
2. 20 社会保障研究所常勤研究員として前田正久(厚生省より転出)が発令された。
3. 4 社会保障研究所常務理事として木村又雄(社会福祉事業振興会常務理事より転出)が任命された。
3. 20 社会保障研究所常勤研究員として三浦文夫(日本福祉大学助教授より転出)が発令された。
4. 1 社会保障研究所常勤研究員として地主重美

(小樽商科大学助教授より転出), 渡辺益男(東京学芸大学助手より転出), 花島政三郎(東京教育大学大学院文学研究科(社会学専攻)修士課程卒), 大本圭野(東京教育大学大学院理学研究科(都市地理学専攻)修士課程卒)が発令された。

4. 20 社会保障研究所常勤研究員として谷昌恒が発令された。
7. 11 常勤研究員として都村敦子(日本証券経済研究所より転出)が発令された。
9. 1 図書司書として唐木英雄(大田区立蒲田図書館より転出)が発令された。
41. 5. 15 社会保障研究所常務理事木村又雄の辞職が発令された。
6. 1 社会保障研究所研究員として長谷川啓之(早稲田大学大学院経済学研究科修士課程卒)が発令された。
6. 2 社会保障研究所常務理事として河角泰助(社会保障制度審議会事務局長より転出)が任命された。
42. 3. 31 社会保障研究所主任研究員前田正久(厚生省大臣官房統計調査部統計調査官), 同研究員中村八朗(関東学院大学助教授)の辞職が発令された。注( )内は転出先。
4. 1 社会保障研究所研究第2部長として地主重美, 同第3研究部長代理として三浦文夫, 同主任研究員として谷昌恒がそれぞれ発令された。
4. 18 社会保障研究所研究第1部長として小沼正(厚生省大臣官房統計調査部社会統計課長より転出)が発令された。
5. 1 社会保障研究所専門委員として江見康一(一橋大学助教授)が発令された。
11. 1 社会保障研究所顧問として今井一男(前国家公務員共済組合連合会理事長)が発令された。
43. 3. 1 社会保障研究所総務部長加地夏雄(厚生省薬

務局麻葉第 1 課長)の辞職が発令された。注  
( ) 内は転出先。

3. 2 社会保障研究所総務部長として木代一男(公  
害防止事業団総務部長より転出)が発令された。

### III 顧問会および役員会等

40. 1. 28 第 1 回役員会 協議内容「研究会の運営等について」
2. 25 第 2 回役員会 協議内容「内部諸規程の制定, 図書資料等の購入, 刊行物の出版等について」
3. 26 第 1 回顧問会議 協議内容「研究所の運営等について」
- 26 第 3 回役員会 協議内容「内部諸規程の制定, 図書資料等の購入, 研究機関誌の発行, 研究会の今後の運営, 人事案件等について」
4. 30 第 4 回役員会 協議内容「昭和 40 年度予算及び事業計画(研究計画), 昭和 39 年度決算(予定) 内部諸規程の制定等について」
5. 27 第 5 回役員会 協議内容「昭和 40 年度事業実施計画, 夏期シンポジウム等について」
6. 22 第 6 回役員会 協議内容「組織規程の改正, 41 年度予算の編成, 年報作成および基礎講座の実施, 諸報告等について」
7. 27 第 7 回役員会 協議内容「基礎講座の実施, 機関誌および英文年報の作成, その他について」
9. 29 第 8 回役員会 協議内容「研究体制の検討, 基礎講座の開催および機関誌(第 4 号)の発行, その他について」
10. 28 第 9 回役員会 協議内容「今後の研究体制, 本年度下半期予算の執行, 事業実施経過, その他について」
11. 25 第 2 回顧問会議, 第 10 回役員会 協議内容「事業実施状況, 来年度予算の概要(要求), その他について」
12. 16 第 11 回役員会 協議内容「大内寄付金の取扱い, 1 周年記念事業の実施計画等について」
41. 1. 27 第 12 回役員会 協議内容「1 周年記念事業の実施, 大内基金の取扱い, 41 年度予算の概要, 41 年度研究プロジェクト等について」
3. 10 第 13 回役員会 協議内容「昭和 41 年度事業計画の策定, 昭和 41 年度研究プロジェクト, 給与関係規程の改正, その他について」
4. 28 第 3 回顧問会議, 第 14 回役員会 協議内容「新年度事業計画および予算, 新年度研究プロジェクト, その他について」
5. 27 第 15 回役員会 協議内容「社会保障教室の実施要領, 第 2 回シンポジウムの実施, 事業実施経過, その他について」
6. 30 第 16 回役員会 協議内容「社会保障教室の実施, 第 2 回シンポジウムの実施要領, 機関誌第 2 巻第 3 号の編集方針, 事業実施経過, その他について」
7. 28 第 17 回役員会 協議内容「昭和 42 年度要求予算, 第 2 回基礎講座, 第 2 回社会保障教室, 事業実施経過, その他について」
9. 30 第 18 回役員会 協議内容「社会保障研究奨励賞懸賞論文, 大内基金委員会, 第 2 回社会保障研究所基礎講座, 事業実施経過, その他について」
10. 28 第 19 回役員会 協議内容「懸賞論文の審査結果, 事業実施経過, その他について」
11. 17 第 20 回役員会 協議内容「昭和 42 年度研究プロジェクト, その他の事業計画, 事業実施経過, その他について」
12. 15 第 4 回顧問会議, 第 21 回役員会 協議内容「昭和 42 年度研究プロジェクト, 3 周年記念事業, 第 2 回社会保障研究奨励賞の募集, 昭和 42 年度予算要求, 事業実施経過について」
42. 1. 19 第 22 回役員会 協議内容「戦後の社会保障の編集方針, 給与関係規程の改正, 事業実施経過, その他について」
2. 16 第 23 回役員会 協議内容「昭和 42 年度事業計画, 第 2 回社会保障研究奨励賞授賞要領, 事業実施経過, その他について」
3. 16 第 24 回役員会 協議内容「42 年度事業計画, 42 年度予算, 事業実施経過, その他について」
4. 13 第 25 回役員会 協議内容「昭和 42 年度四半期別事業計画, 戦後の社会保障の編集内容, 昭和 41 年度事業実施経過, その他について」

- 5.18 第26回役員会 協議内容「調査研究組織の検討, 社会保障研究奨励賞授賞論文の推薦方法, 海外調査の件, 事業実施状況, その他について」
- 6.15 第27回役員会 協議内容「公開研究発表会の開催, 第2回社会保障研究奨励賞授賞論文の推薦方法, 海外事情調査の件, 43年度予算の編成, 事業実施経過, その他について」
- 7.13 第28回役員会 協議内容「海外社会保障情報, 大内基金, 43年度予算, 研究員(助手)の採用, 事業実施経過, その他について」
- 8.17 第29回役員会(臨時) 協議内容「特殊法人問題, 第3回社会保障研究所基礎講座, 事業実施経過, その他について」
- 10.26 第30回役員会 協議内容「第2回社会保障研究奨励賞授賞論文の審査状況, 3周年記念事業, 事業実施経過, その他について」
- 12.7 第5回顧問会, 第31回役員会 協議内容「事業実施経過, 創立3周年記念シンポジウム, 『戦後の社会保障』の刊行, 昭和43年度予算要求, その他について」
- 43.1.18 第32回役員会 協議内容「昭和43年度予算, 昭和43年度研究プロジェクト, その他について」
- 3.14 第33回役員会 協議内容「昭和43年度事業計画, 事業実施経過, その他について」

## IV 部門別研究会

1. 合同研究会
40. 1.26 第1回研究会 ヒヤリング「厚生行政の課題について」講師 厚生省大臣官房企画室長網野智
2. 2 第2回研究会 ヒヤリング「わが国年金制度の現状と問題点について」講師 厚生省年金局企画課長高木玄
2. 9 第3回研究会 ヒヤリング「児童手当制度について」講師 厚生省大臣官房企画室室長補佐木村政光
- 2.18 第4回研究会 ヒヤリング「公衆衛生の現状と問題点について」講師 厚生省公衆衛生局企画課長松下廉蔵
- 2.23 第5回研究会 協議内容「研究会の今後の運営について」
3. 2 第6回研究会 ヒヤリング「アメリカの貧困問題について」講師 専門委員中鉢正美
3. 9 第7回研究会 ヒヤリング「年金財政について」講師 厚生省年金局数理課長坂中善治
- 3.16 第8回研究会 協議内容「『季刊社会保障研究』の編集について」
- 3.30 第9回研究会 ヒヤリング「フランスの年金制度について」講師 ILO 東京支局調査部長高橋武
- 4.13 第10回研究会 ヒヤリング「北欧諸国の社会保障費について」講師 専門委員小沼正
- 4.20 第11回研究会 ヒヤリング「第13回国連人口問題委員会の討議内容等について」講師 参与館稔
- 4.27 第12回研究会 ヒヤリング「欧米諸国における社会開発の現状について」講師 厚生省大臣官房審議官伊部英男
5. 4 第13回研究会 報告内容「ILOからみた社会保障の現状と方向について」報告者 ILO 事務局樋口富雄
- 5.11 第14回研究会 報告内容「医療保険制度の現状と問題点について」報告者 厚生省保険局企画課長首尾木一
- 5.18 第15回研究会 報告内容「医療費問題について」報告者 厚生省保険局医療課長松尾正雄
- 5.25 第16回研究会 報告内容「本年度社会政策学会の概況について」報告者 専門委員中鉢正美, 研究員三浦文夫, 平石長久
6. 8 第17回合同研究会 報告内容「厚生年金の改正と企業年金について」報告者 厚生省年金局年金課課長補佐中野徹雄
- 6.29 第18回合同研究会 報告内容「賃金問題の現状と問題点について」報告者 労働省労働基準局賃金部企画課長佐竹一郎
- 29 第19回合同研究会 報告内容「大原社会問題研究所について」報告者 顧問大内兵衛
- 7.20 第20回合同研究会 報告内容「雇用問題の

- 現状と問題点について」報告者 労働省職業安定局失業対策部企画課長細野正
- 7.28 第 21 回合同研究会 報告内容「福祉国家の前提条件」報告者 専門委員武藤光朗
- 8.31 第 22 回合同研究会兼第 1, 第 2 研究会 (第 4 回) 報告内容「社会保障と財政」報告者 大蔵省主計局主計官佐藤吉男
- 9.14 第 23 回合同研究会 協議内容「季刊社会保障研究について、その他」
- 9.29 第 24 回合同研究会 報告内容「労災保険と災害防止対策」報告者 労働省労働基準局労災保障部管理課課長補佐田中清定
- 9.30 第 25 回合同研究会 報告内容「チェッコの社会保障」報告者 チェッコ、プラーグ・チャーレス大学教授 I. トーメシー
- 10.14 第 26 回合同研究会 報告内容「失業保険の現状と問題点について」報告者 労働省職業安定局失業保険課課長補佐関英夫
11. 2 第 27 回合同研究会 報告内容「環境衛生行政について」報告者 厚生省環境衛生局環境衛生課長柳瀬孝吉
- 11.30 第 28 回合同研究会 報告内容「第 13 回日本社会福祉学会について」報告者 研究員前田正久, 三浦文夫, 谷昌恒
12. 9 第 29 回合同研究会 報告内容「年金のスライド制について」報告者 厚生省年金局企画課長曾根田郁夫
- 12.21 第 30 回合同研究会 報告内容「社会計画の方法に関する基礎問題」報告者 所長山田雄三
41. 1.27 第 31 回合同研究会 報告内容「年金積立金の運用について」報告者 厚生省年金局資金課長出原孝夫
- 2.10 第 32 回合同研究会 報告内容「社会福祉の現状と問題点」報告者 厚生省社会局庶務課長穴山徳夫
- 2.24 第 33 回合同研究会 協議内容「来年度における合同研究会の在り方について」
- 3.17 第 34 回合同研究会 報告内容「生活保護の現状と問題点」報告者 厚生省社会局保護課長松下廉蔵
- 9.20 第 35 回合同研究会 協議内容「今後の研究事業の運営について」
42. 3.23 特別研究会 (第 1 回) 報告内容「戦後の社会保障の時代区分について」報告者 専門委員
- 小山路男
- 3.31 個人研究発表会 (於社会保障研究所)
2. 第 I 研究会
- 昭和 40 年度研究課題「国民所得における社会保障の統計的研究」
40. 6. 3 第 1, 第 2 研究会 (第 1 回) 報告内容「社会保障費に関する諸推計の比較と問題点について」報告者 研究員地主重美
- 6.17 第 1, 第 2 研究会 (第 2 回) 報告内容「国民所得の新推計について」報告者 経済企画庁経済研究所国民所得部国民支出課桜井弘
7. 1 第 1, 第 2 研究会 (第 3 回) 報告内容「社会保障の基本問題について」報告者 一橋大学助教授江見康一
- 8.31 第 1, 第 2 研究会 (第 4 回) 第 22 回合同研究会と合同して実施した。
- 9.16 第 1, 第 2 研究会 (第 5 回) 報告内容「厚生省推計社会保障費および ILO 社会保障費について」報告者 厚生省大臣官房企画室室長補佐保坂哲哉
- 9.29 第 1, 第 2 研究会 (第 6 回) 報告内容「社会保障制度審議会の社会保障費について (その 1)」報告者 社会保障制度審議会事務局調査第 1 課長吉崎三男
10. 8 第 1, 第 2 研究会 (第 7 回) 報告内容「社会保障制度審議会の社会保障費について (その 2)」報告者 社会保障制度審議会事務局調査第 1 課長吉崎三男
- 昭和 41 年度研究課題「社会保障の所得再分配効果に関する研究——財源に関する検討を含む——」
41. 4.21 第 1 研究会 (第 8 回) 協議課題「本年度プロジェクトの進め方について」
- 5.26 第 1 研究会 (第 9 回) 報告内容「戦後日本の所得分布について」報告者 一橋大学助教授江見康一
- 6.16 第 1 研究会 (第 10 回) 報告内容「所得再分配効果の分析」報告者 国民生活研究所調査研究部長石崎唯雄
- 7.14 第 1 研究会 (第 11 回) 報告内容「国民健康保険における拠出, 給付の所得階層別分布」報告者 厚生省保険局調査課長藤卓雄
- 9.13 第 1 研究会 (第 12 回) 報告内容「戦後日本に

- における社会保障の再分配効果」報告者 研究員地主重美
- 10.13 第1研究会(第13回) 報告内容「税制面からみた所得再分配の問題点」報告者 大蔵省大臣官房調査課課長補佐今永伸二
- 11.24 第1研究会(第14回) 報告内容「戦後日本における社会保障の所得再分配効果について」報告者 研究員地主重美
- 12.22 第1研究会(第15回) 報告内容「1. 社会保障の所得再分配効果の資料と推定方法, 2. 本年度プロジェクトのまとめ, 3. 来年度プロジェクトの打合せ」報告者 研究員地主重美
42. 1.26 第1研究会(第16回) 協議内容「昭和42年度プロジェクト, 戦後の社会保障の執筆内容について」提案者 研究員地主重美
- 2.23 第1研究会(第17回) 協議内容「昭和42年度プロジェクト, 戦後の社会保障執筆内容最終打合せについて」提案者 研究員地主重美
- 昭和42年度研究課題「a. 社会保障の所得再分配効果に関する研究——年金積立金に関する検討を含む——, b. 社会資本の計測と分析に関する研究」
42. 4.20 第1研究会(第18回) 報告内容「戦後の経済発展の動態のスケルトン」報告者 所長山田雄三
- 5.11 第1研究会(第19回) 報告内容「『戦後の社会保障』—財政と社会保障—のスケルトン」報告者 専門委員江見康一
- 5.25 第1研究会(第20回) 報告内容「社会資本の計測をめぐる問題点」報告者 経済企画庁総合計画局計画課専門調査員橋本昌史
- 6.8 第1研究会(第21回) 報告内容「『戦後の社会保障』第3編第6章——経済計画と社会保障——のスケルトン」報告者 研究員都村敦子
- 7.6 第1研究会(第22回) 報告内容「厚生省関係の社会資本ストックの推計方法と資料」報告者 厚生省大臣官房企画室斉藤正明
- 7.27 第1研究会(第23回) 報告内容「『戦後の社会保障』第3編第2章第1節——就業構造, 賃金構造の変遷——の構想について」報告者 専門委員小野旭
- 9.21 第1研究会(第24回) 報告内容「社会福祉資本の計測——主として評価問題について——」報告者 厚生省大臣官房企画室斉藤正明, 研究員長谷川啓之
- 11.30 第1研究会(第25回) 報告内容「社会福祉資本の計測——国立病院ストック——」報告者 研究員長谷川啓之
- 12.19 第1研究会(第26回) 報告内容「財政硬直化と社会保障」報告者 専門委員江見康一
43. 1.25 第1研究会(第27回) 報告内容「財政硬直化と社会保障(その2)」報告者 専門委員江見康一
- 2.15 第1研究会(第28回) 報告内容「医療サービスの経済分析」報告者 研究員都村敦子
3. 第II研究会  
昭和40年度研究課題「経済指標・社会指標・地域指標の活用に関する方法論的研究」
40. 10.28 第2研究会(第1回) 報告内容「指標の総合化ならびに活用に関する諸研究の概観」報告者 研究員前田正久
- 11.11 第2研究会(第2回) 報告内容「厚生省の生活指標調査について」報告者 厚生省大臣官房企画室室長補佐保坂哲哉
- 12.2 第2研究会(第3回) 報告内容「国民生活の構造分析」報告者 早稲田大学講師渋谷行雄
- 12.16 第2研究会(第4回) 報告内容「生活連関表をめぐって」報告者 経済企画庁国民生活局国民生活課課長補佐長尾俊彦
41. 1.20 第2研究会(第5回) 報告内容「生活総合指数, 生活連関表等の作成に関する方法論の吟味」報告者 文部省統計数理研究所第2研究部長林知己夫
- 2.10 第2研究会(第6回) 報告内容「生活指標の総合化に関する一試論」報告者 非常勤研究員青井和夫 自由討議「与えられるべき外的基準ならびに地域指標に関する自由討議」
- 2.24 第2研究会(第7回) 協議内容「中間報告ならびに41年度研究プロジェクトの検討について」
- 3.8 第2研究会(第8回) 報告内容「社会指標と経済指標の相関について」報告者 所長山田雄三
- 3.29 第2研究会(第9回) 協議内容「昭和41年度研究プロジェクトの検討について」
- 昭和41年度研究課題「経済指標・社会指標および地

域指標の活用に関する理論的実証的研究」

41. 4. 21 第 2 研究会(第10回) 報告内容「わが国の地域別統計による経済指標と社会指標の相関について」報告者 所長山田雄三
5. 26 第 2 研究会(第11回) 報告内容「生活指標の総合化に関する提言——社会計画の方法に関する基礎問題(所内研究資料 No. 6501)を素材として——」報告者 専門委員大熊一郎
6. 23 第 2 研究会(第12回) 報告内容「各研究に用いられている生活指標の編成に関する考察」報告者 研究員前田正久, 大本圭野
8. 25 第 2 研究会(第13回) 報告内容「地域経済連関とその指数化について」報告者 早稲田大学講師渋谷行雄
9. 22 第 2 研究会(第14回) 報告内容「生活指標の選定に関する考察」報告者 研究員前田正久, 曾原利満, 大本圭野
10. 27 第 2 研究会(第15回) 報告内容「生活指標の活用に関する二、三の提言——とくに生活圏と地域指標をめぐって」報告者 東京大学講師河辺宏
11. 10 第 2 研究会(第16回) 報告内容「U.N., *Research Institute for Social Development Report*, No. 4『生活水準指数について』」報告者 研究員曾原利満
12. 15 第 2 研究会(第17回) 報告内容「生活環境モデルについて」報告者 経済企画庁国民生活局国民生活課課長補佐長尾俊彦, 同課主査海野恒男
42. 1. 19 第 2 研究会(第18回) 協議内容「昭和 41 年度プロジェクトのまとめ, 昭和 42 年度プロジェクトの打合せについて」提案者 研究員前田正久
2. 16 第 2 研究会(第19回) 協議内容「昭和 42 年度プロジェクト, 戦後の社会保障の執筆内容について」提案者 研究員前田正久
3. 16 第 2 研究会(第20回) 協議内容「戦後の社会保障の執筆内容について」提案者 研究員前田正久

昭和 42 年度研究課題「a. 階層区分に関する統計的研究, b. 生活指標・経済指標の活用に関する研究」

42. 4. 13 第 2 研究会(第21回) 報告内容「既存統計の階層区分について」報告者 厚生省統計調査部

社会統計課, 同社会局保護課, 総理府統計局消費統計課

5. 11 第 2 研究会(第22回) 報告内容「戦後の社会保障のとりまとめ——社会保障の国際比較について」報告者 研究員奥口圭野
6. 8 第 2 研究会(第23回) 報告内容「『戦後の社会保障』第 2 編第 1 章について 1. 生活水準指数——大正 14~昭和 40, 5 年間隔国連方式による計測——について, 2. その他」報告者 研究員曾原利満
7. 13 第 2 研究会(第24回) 協議内容「『戦後の社会保障』第 2 編——社会保障の水準と類型——の構想について」司会者 研究第 1 部長小沼正
9. 12 第 2 研究会(第25回) 報告内容「階層区分に関する一考察」報告者 厚生省大臣官房統計調査部統計調査官前田正久
10. 12 第 2 研究会(第26回) 報告内容「階層区分について」報告者 日本女子大学教授江口英一
11. 16 第 2 研究会(第27回) 報告内容「階層区分について——労研の最低生活費の研究を中心として——」報告者 労働科学研究所下山房雄
12. 21 第 2 研究会(第28回) 報告内容「現代の最低生活水準」報告者 専門委員中鉢正美
43. 1. 18 第 2 研究会(第29回) 報告内容「海外諸国における低所得階層」報告者 研究第 1 部長小沼正
2. 22 第 2 研究会(第30回) 報告内容「生活水準指数——オランダの事例, 国連方式による計測——について」報告者 研究員曾原利満
3. 14 第 2 研究会(第31回) 報告内容「『季刊社会保障研究』統計欄の編集に関する検討について」司会者 研究第 1 部長小沼正

#### 4. 第Ⅲ研究会

昭和 40 年度研究課題「現代社会の構造的変動と社会保障」

40. 6. 8 第 3, 第 4 研究会(第 1 回) 報告内容「家族の変動に対応せる周期段階の設定について」報告者 非常勤研究員森岡清美
6. 22 第 3, 第 4 研究会(第 2 回) 報告内容「社会保障研究について」報告者 国立精神衛生研究所横山定雄
7. 13 第 3, 第 4 研究会(第 3 回) 報告内容「行為分析の枠組——生活構造研究へのアプローチ

- チ——」報告者 非常勤研究員青井和夫
9. 7 第3, 第4研究会(第4回) 報告内容「社会開発と地域開発」報告者 非常勤研究員松原治郎
9. 21 第3, 第4研究会(第5回) 報告内容「家族と社会福祉」報告者 オスロー大学助教授 E. グリュンセス
10. 19 第3, 第4研究会(第6回) 報告内容「近郊地域における農家労働力の流出形態について」報告者 人口問題研究所皆川勇一
10. 26 第3, 第4研究会(第7回) 報告内容「国際家族セミナー報告——家族と社会福祉——」報告者 非常勤研究員森岡清美, 研究員中村八朗
11. 4 第3, 第4研究会(第8回) 報告内容「親族組織と社会保障」報告者 東洋大学教授小山隆
11. 30 第3, 第4研究会(第9回) 報告内容「地域開発の日本の特性と課題」報告者 都立大学教授磯村英一
12. 14 第3, 第4研究会(第10回) 報告内容「社会病理学的研究の方法」報告者 明治学院大学教授大橋薫
41. 1. 25 第3, 第4研究会(第11回) 報告内容「社会福祉の方法」報告者 日本社会事業大学助教授副田義也
2. 8 第3, 第4研究会(第12回) 協議内容「昭和41年度社会学部門研究プロジェクトについて」
3. 8 第3, 第4研究会(第13回) 協議内容「昭和40年度中間報告と41年度研究プロジェクトについて」
- 昭和41年度研究課題「現代社会の構造的変動と社会保障の関連に関する研究——福祉地区に関連してコミュニティ・デベロップメントの意義と役割についての理論的ならびに実証的研究——」
41. 4. 5 第3, 第4研究会(第14回) 協議内容「昭和40年度中間報告および41年度研究プロジェクトについて」
4. 19 第3研究会(第15回) 報告内容「“Methods to Induce Change at the Local Level”(国連, 社会開発研究所報告 No. 2) の紹介について」報告者 研究員中村八朗
5. 24 第3研究会(第16回) 報告内容「コミュニティ・デベロップメントについて(その1)」報告者 研究員花島政三郎
6. 21 第3研究会(第17回) 報告内容「1. コミュニティ・デベロップメントについて(その2) 2. 実地調査の進め方について」報告者 研究員渡辺益男
7. 12 第3研究会(第18回) 協議内容「1. 福島県における地域区分 2. 調査のすすめ方について」司会者 非常勤研究員松原治郎
7. 26 第3研究会(第19回) 報告内容「福祉地区に関するコミュニティ・デベロップメントの意義と役割の研究, 調査について」報告者 研究員三浦文夫
8. 3 第3研究会(第20回) 協議内容「福祉地区に関するコミュニティ・デベロップメントの意義と役割の研究, 調査について(その2)」報告者 研究員三浦文夫
9. 13 第3, 第4研究会(第21回, 第17回) 報告内容「福島県における実地調査の経過報告について」報告者 研究員前田正久, 三浦文夫
11. 8 第3研究会(第22回) 報告内容「川内, 飯野地区における実地調査の中間報告について」報告者 研究員三浦文夫, 中村八朗, 花島政三郎
12. 13 第3研究会(第23回) 報告内容「1. エカフエ主催のコミュニティ・デベロップメントセミナーの報告, 2. 福島県の補足調査について」報告者 1. 全国社会福祉協議会参事前田大作, 2. 研究員三浦文夫
42. 1. 10 第3研究会(第24回) 協議内容「福島県における補足調査の打合せについて」提案者 研究員三浦文夫
1. 24 第3, 第4研究会(第25回, 第21回) 協議内容「昭和42年度プロジェクト, 戦後の社会保障執筆内容, 福島県の補足調査について」提案者 研究員三浦文夫
2. 7 第3, 第4研究会(第26回, 第22回) 協議内容「昭和42年度プロジェクト, 戦後の社会保障の執筆内容について」提案者 研究員三浦文夫
2. 28 第3, 第4研究会(第27回, 第23回) 協議内容「福島県の補足調査について」提案者 研究員三浦文夫
3. 14 第3, 第4研究会(第28回, 第24回) 報告内容「戦後社会の構造的変化について」報告者 東京学芸大学助教授蓮見音彦
3. 30 第3, 第4研究会(第29回, 第25回) 報告内

容「近代化と家族」報告者 大阪市立大学教授  
山根常男

昭和 42 年度研究課題「現代社会の構造的変動と社会  
保障との関連に関する研究——開発的視点からみた地  
域福祉計画の策定と地域組織化に関する研究——」

42. 4. 13 第 3, 第 4 研究会(第30回, 第26回) 協議内  
容「戦後の社会保障の執筆内容について」提案  
者 研究第 3 部長代理三浦文夫

5. 9 第 3, 第 4 研究会(第31回, 第27回) 報告内  
容「保健福祉地区推進運動の展開と問題点」報  
告者 全国社会福祉協議会永田幹夫

5. 23 第 3, 第 4 研究会(第32回, 第28回) 報告内  
容「『戦後の社会保障』第 4 編第 3 章の構想につ  
いて」報告者 専門委員森岡清美, 研究員渡辺  
益男

6. 1 第 3, 第 4 研究会(第33回, 第29回) 報告内  
容「『戦後の社会保障』第 4 編第 4 章——地域社  
会と社会保障——の構想について」報告者 専  
門委員松原治郎, 関東学院大学助教授中村八朗,  
お茶の水女子大学助教授園田恭一

6. 20 第 3, 第 4 研究会(第34回, 第30回) 報告内  
容「『戦後の社会保障』第 4 編第 2 章——人口と  
社会保障——の構想について」報告者 専門委  
員安川正彬

7. 6 第 3, 第 4 研究会(第35回, 第31回) 報告内  
容「『戦後の社会保障』第 4 編第 5 章——国民の  
生活意識と社会保障——の執筆について」報告  
者 研究第 3 部長代理三浦文夫, 研究員花島政  
三郎

9. 26 第 3, 第 4 研究会(第36回, 第32回) 報告内  
容「1.『戦後の社会保障』第 4 編の編集について  
2.『社会変動下における社会意識の変容と社会  
保障』に関する研究プロジェクトについて」報  
告者 研究第 3 部長代理三浦文夫

10. 17 第 3, 第 4 研究会(第37回, 第33回) 報告内  
容「老人福祉対策について」報告者 研究第 3  
部長代理三浦文夫, 研究員渡辺益男, 同村山冴  
子

11. 7 第 3, 第 4 研究会(第38回, 第34回) 報告内  
容「高齢者就労状況調査の解析について」報告  
者 研究員渡辺益男

11. 28 第 3, 第 4 研究会(第39回, 第35回) 報告内  
容「農村家族における児童養育費の研究——生

活構造の分析を中心に——」報告者 専門委員  
森岡清美

12. 7 第 3, 第 4 研究会(第40回, 第36回) 報告内  
容「農村家族における児童養育費の研究——家  
計構造・栄養分析を中心に——」報告者 厚生  
省統計調査官前田正久, 国立栄養研究所調査統  
計部長嶺晋吉

43. 1. 23 第 3, 第 4 研究会(第41回, 第37回) 報告内  
容「小集団研究の応用面」報告者 専門委員青  
井和夫

2. 20 第 3, 第 4 研究会(第42回, 第38回) 報告内  
容「老人問題に関する文献の紹介と批判」報告  
者 研究第 3 部長代理三浦文夫

3. 12 第 3, 第 4 研究会(第43回, 第39回) 報告内  
容「農村における老人の生活実態について」報  
告者 参与福武直

#### 5. 第IV研究会

昭和 40 年度研究課題「生活構造と社会保障」

40 年度は第 3 研究会と合同して実施した(第 1 回  
～第 14 回まで)。

昭和 41 年度研究課題「生活構造と社会保障に関する  
研究——核家族化に伴う家族周期と扶養関係の変化に  
関する理論的ならびに実証的研究——」

41. 5. 10 第 4 研究会(第15回) 報告内容「家族周期と  
生計費について」報告者 お茶の水女子大学助  
教授伊藤秋子

6. 7 第 4 研究会(第16回) 報告内容「家計主体に  
おけるライフサイクルに関する研究について」  
報告者 国民生活研究所調査研究部長石崎唯雄

9. 13 第 4 研究会(第17回) 第 3 研究会と合同して  
実施した。

9. 27 第 4 研究会(第18回) 報告内容「東欧諸国に  
おける老人扶養の問題」報告者 中央大学教授  
那須宗一

10. 11 第 4 研究会(第19回) 報告内容「家族周期か  
らみた児童扶養について」報告者 非常勤研究  
員森岡清美, 研究員前田正久

11. 22 第 4 研究会(第20回) 報告内容「家裁事件に  
おける扶養料の算定方式について」報告者 最  
高裁判所家庭局科学調査室員湯沢雅彦

42. 1. 24 以下の研究会は第 3 研究会と合同して実施し  
た(第21回～第25回まで)。

昭和 42 年度研究課題「生活構造と社会保障に関する研究——扶養関係の変化と高齢者の生活構造に関する研究——」

42 年度は第 3 研究会と合同して実施した（第 26 回～第 39 回まで）。

#### 6. 第 V 研究会

昭和 40 年度研究課題「各国社会保障制度の比較研究」

40. 6. 1 第 5 研究会(第 1 回) 報告内容「アメリカ社会福祉発達史について」報告者 日本女子大学助教授一番ヶ瀬康子

6. 22 第 5 研究会(第 2 回) 報告内容「アメリカの公衆衛生・医療制度について」報告者 専門委員橋本正己

7. 6 第 5 研究会(第 3 回) 報告内容「19 世紀初期のアメリカの社会事情——クインシー・イエーツ報告を中心として——」報告者 日本女子大学助教授一番ヶ瀬康子

7. 19 第 5 研究会(第 4 回) 報告内容「19 世紀後半のアメリカの社会事情——Riss の How the other half lives を中心として——」報告者 研究員谷昌恒

8. 17 第 5 研究会(第 5 回) 報告内容「20 世紀初頭のアメリカの社会事情——L. M. Bosworth の *The Living Wage of Women Workers* を中心として——」報告者 専門委員中鉢正美

9. 14 第 5 研究会(第 6 回) 報告内容「Wisconsin 州における失業保険制度について——連邦における 1935 年法の成立に関連して——」報告者 研究員平石長久

9. 29 第 5 研究会(第 7 回) 報告内容「アメリカの医療および公衆衛生について」報告者 専門委員橋本正己

10. 5 第 5 研究会(第 8 回) 報告内容「大戦から恐慌まで——C. A. Chambers, *Seedtime of Reform 1918—1933* を中心として——」報告者 研究員谷昌恒

11. 9 第 5 研究会(第 9 回) 報告内容「アメリカの社会保障法——E. Witte, *Development of the Social Security* について」報告者 専門委員中鉢正美

12. 7 第 5 研究会(第 10 回) 報告内容「E. Witte, *Social Security Perspectives*, part III, 失業問題について」報告者 研究員平石長久

12. 21 第 5 研究会(第 11 回) 報告内容「E. Witte, *Social Security Perspectives*, part III, 失業問題について(その 2)」報告者 研究員平石長久

41. 1. 18 第 5 研究会(第 12 回) 報告内容「アメリカの年金制度——Witte の論文を中心として——」報告者 研究員三浦文夫

2. 8 第 5 研究会(第 13 回) 報告内容「アメリカの年金制度——E. Witte の論文を中心として(その 2)」報告者 研究員三浦文夫

2. 15 第 5 研究会(第 14 回) 協議内容「各国社会保障制度の比較研究——昭和 41 年度研究プロジェクトについて」

3. 17 第 5 研究会(第 15 回) 報告内容「アメリカの年金制度——E. Witte の論文を中心として(完)——」報告者 研究員谷昌恒

3. 31 第 5 研究会(第 16 回) 報告内容「アメリカの医療保障について——E. Witte の論文を中心として——」報告者 専門委員橋本正己

昭和 41 年度研究課題「各国社会保障制度の歴史的探究——とくにアメリカとイギリスについての歴史的探究——」

41. 4. 14 第 5 研究会(第 17 回) 報告内容「アメリカの医療制度について——E. Witte の論文を中心として(その 2)——」報告者 専門委員橋本正己

5. 12 第 5 研究会(第 18 回) 報告内容「アメリカの社会保障制度——E. Witte の論文を中心として——」報告者 専門委員小沼正

6. 9 第 5 研究会(第 19 回) 報告内容「アメリカの社会保障制度——E. Witte の論文を中心として(その 2)——」報告者 専門委員小沼正

7. 7 第 5 研究会(第 20 回) 協議内容「S. E. Harris : 社会保障の経済学の問題点について」司会者 専門委員中鉢正美

9. 29 第 5 研究会(第 21 回) 報告内容「S. Harris, *Economics of Social Security* について(その 2)」報告者 研究員地主重美

10. 27 第 5 研究会(第 22 回) 報告内容「S. Harris, *Economics of Social Security*, part II. *Finance and Reserves* (その 3)」報告者 専門委員中鉢正美, 研究員曾原利満

11. 24 第 5 研究会(第 23 回) 報告内容「S. Harris, *Economics of Social Security* について(その 4)」報告者 研究員長谷川啓之

- 12.22 第5研究会(第24回) 報告内容「社会保障の財政と投資, S. Harris, *Economics of Social Security* について(その5)」報告者 専門委員中鉢正美, 研究員曾原利満
42. 1.19 第5研究会(第25回) 報告内容「S. Harris, *Economics of Social Security*, Chapter 9. *The Theory of Reserves* について(その6)」報告者 研究員平石長久
- 2.16 第5研究会(第26回) 報告内容「S. Harris, *Economics of Social Security* について(その7)」報告者 所長山田雄三
- 3.23 第5研究会(第27回) 報告内容「S. Harris, *Economics of Social Security* について(その8)」報告者 研究員谷昌恒
- 昭和 42 年度研究課題「各国社会保障制度の歴史的  
研究——とくにアメリカにおける戦後の動向について——」
42. 4.27 第5研究会(第28回) 協議内容「昭和 42 年度研究プロジェクトについて——コーヘン論文  
集その他——」提案者 専門委員中鉢正美
- 5.18 第5研究会(第29回) 報告内容「アメリカの  
社会保障の経済問題について——Haber,  
Cohen(編) 論文集の検討(その1)——」報告  
者 研究員都村敦子
- 6.15 第5研究会(第30回) 報告内容「第5研究会  
中間報告のとりまとめについて」報告者 専門  
委員橋本正己, 主任研究員谷昌恒, 研究員平石  
長久
- 8.17 第5研究会(第31回) 報告内容「Haber, Cohen  
(編), *Readings of Social Security* について  
(その2)」報告者 専門委員中鉢正美
- 9.28 第5研究会(第32回) 報告内容「Haber, Cohen  
(編), *Readings of Social Security* について  
(その3)」報告者 専門委員中鉢正美
- 10.12 第5研究会(第33回) 報告内容「Haber, Cohen  
(編), *Readings of Social Security* について  
(その4)」報告者 主任研究員谷昌恒
11. 9 第5研究会(第34回) 報告内容「Haber, Cohen  
(編), *Readings of Social Security* について  
(その5)」報告者 専門委員橋本正己
- 12.21 第5研究会(第35回) 報告内容「Haber, Cohen  
(編), *Readings of Social Security* について  
(その6)」報告者 研究員平石長久

43. 1.18 第5研究会(第36回) 報告内容「Haber, Cohen  
(編), *Readings of Social Security* について  
(その7)」報告者 研究員平石長久
- 2.29 第5研究会(第37回) 報告内容「Haber, Cohen  
(編), *Readings of Social Security* について  
(その8)」報告者 研究第1部長小沼正
- 3.28 第5研究会(第38回) 報告内容「1. Haber, Co-  
hen(編), *Readings of Social Security* につい  
て(その9) 2. 第5研究会中間報告ならびに43  
年度研究プロジェクトについて」報告者 研究  
第1部長小沼正, 司会者 専門委員中鉢正美

## 7 第VI研究会

昭和 41 年度研究課題「社会保障の制度部門別の比較  
研究——年金, 医療, 家族(児童)手当等の給付水準,  
財源等に関する国際比較——」

41. 4.18 第6研究会(第1回) 協議内容「本年度研究  
計画の作成および打合せについて」
- 5.12 第6研究会(第2回) 報告内容「各国社会保  
障制度の概要」報告者 研究員平石長久
6. 9 第6研究会(第3回) 報告内容「年金制度の  
問題点」報告者 厚生省年金局数理課長補佐  
淵脇学
- 7.28 第6研究会(第4回) 報告内容「年金制度の  
国際比較——英, 仏両国制度の対比を中心とし  
て——」報告者 健保連社会保障研究室研究員  
上村政彦
- 9.29 第6研究会(第5回) 報告内容「所得比例制  
の年金制度について」報告者 厚生省年金局企  
画課花輪隆昭
11. 8 第6研究会(第6回) 報告内容「資金運用に  
ついて」報告者 厚生省年金局資金課長木村政  
光
- 11.29 第6研究会(第7回) 報告内容「各国社会保  
障制度の動向について」報告者 日本団体生命  
保険業務部次長村上清
- 12.13 以下の研究会は政策研究会と合同して実施し  
た(第8回~第11回まで)。

昭和 42 年度研究課題「社会保障制度の制度部門別の  
比較研究——とくに医療保障, 公衆衛生などに関する  
国際比較——」

42. 4.27 第6研究会(第12回) 政策研究会と合同して  
実施した。

- 5.23 第6研究会(第13回) 同上
- 6.22 第6研究会(第14回) 報告内容『戦後の社会保障』第1編——戦後における社会保障制度——の構想について」報告者 専門委員小山路男
- 7.20 以下の研究会は政策研究会と合同して実施した(第15回～第22回まで)。
8. 政策研究会
41. 4.26 第1回政策研究会 研究課題「児童手当制度について」
- 5.17 第2回政策研究会 研究課題「経済計画における社会保障」
- 6.14 第3回政策研究会 研究課題「児童手当制度について(その2)」
- 7.5 第4回政策研究会 研究課題「児童手当制度について(その3)」
- 7.12 第5回政策研究会 研究課題「年金制度について」
- 8.23 第6回政策研究会 研究課題「年金制度について(その2)」
- 9.6 第7回政策研究会 研究課題「年金制度について(その3)」
- 10.4 第8回政策研究会 研究課題「年金制度について(その4)」
- 11.10 第9回政策研究会 報告内容「年金制度——年金数理——について」報告者 厚生省年金局数理課長坂中善治
- 11.29 第10回政策研究会 報告内容「政策研究の基本的態度について」報告者 所長山田雄三
- 12.13 第11回政策研究会兼第6研究会(第8回) 報告内容「医療保障の国際類型について」報告者 専門委員小山路男
42. 1.17 第12回政策研究会兼第6研究会(第9回) 報告内容「医療問題——七人委員会の報告——について」報告者 研究員谷昌恒
- 2.23 第13回政策研究会兼第6研究会(第10回) 報告内容「イギリスの医療保障制度について」報告者 研究員長谷川啓之
- 3.30 第14回政策研究会兼第6研究会(第11回) 報告内容「フランス社会保障の長期計画——とくに医療を中心として——」報告者 健保連社会保障研究室研究員上村政彦
- 4.27 第15回政策研究会兼第6研究会(第12回) 報告内容「イギリスの国民保健サービス——R. M. テイトマスによる——」報告者 主任研究員谷昌恒
- 5.23 第16回政策研究会兼第6研究会(第13回) 報告内容「フランスの医療保障——その実情と問題点」報告者 厚生省保険局調査課主査藤井良治
- 7.20 第17回政策研究会兼第6研究会(第15回) 報告内容「公衆衛生よりみた医療保障の問題点」報告者 専門委員橋本正己
- 9.28 第18回政策研究会兼第6研究会(第16回) 報告内容「医療保障の動向をめぐる諸問題」報告者 専門委員小山路男
- 10.26 第19回政策研究会兼第6研究会(第17回) 報告内容「医療保障の諸問題に関する再検討」報告者 専門委員小山路男
- 11.28 第20回政策研究会兼第6研究会(第18回) 報告内容「労働保険の問題点」報告者 労働省労災補償部管理課課長補佐田中清定
- 12.19 第21回政策研究会兼第6研究会(第19回) 報告内容「医療保険と医療保障」報告者 専門委員小山路男
43. 1.25 第22回政策研究会兼第6研究会(第20回) 報告内容「医療保険と医療保障(その2)」報告者 専門委員小山路男
- 2.22 第23回政策研究会兼第6研究会(第21回) 報告内容「生活保護基準について」報告者 厚生省社会局保護課長曾根田郁夫
- 3.21 第24回政策研究会兼第6研究会(第22回) 報告内容「生活保護基準について」報告者 一橋大学教授石田忠, 研究第1部長小沼正

## V 研修・シンポジウム等

40. 1. 12 社会保障研究所の開所式を行い、業務を開始した。

2. 1 社会保障研究所の開所披露を芝白金迎賓館において盛大に行った。

7. 26 第1回シンポジウムをつぎにより実施した。

・テーマ 「社会保障とは何ぞや」

・場 所 軽井沢、軽井沢会館

・出席者 山田雄三、木村又雄、塩野谷九十九、寺尾琢磨、今井一男、伊部英男、馬場啓之助、福武 直、館 稔、武藤光朗、中鉢正美、大熊一郎、高橋 武

・日 程

(7月26日午後)

報告者：今井一男「医療保障」「医療の本質と社会保障」「社会保険の上限と下限」

コメンター：馬場啓之助、大熊一郎

(7月27日午前)

報告者：高橋 武「社会保障における賃金の役割」「社会保障はすぐれて社会的なもの」

コメンター：塩野谷九十九、中鉢正美

(7月27日午後)

報告者：伊部英男「社会保障と社会計画」

コメンター：福武直、武藤光朗

11. 15 第1回社会保障研究所基礎講座——社会開発  
～18 セミナー——を厚生省後援のものに、つぎにより開催した。

・場 所 東京、日本勧業銀行本店会議室

・出席者 各都道府県関係職員等 53 名

・講座内容

| 講 師    | テ ー マ        |
|--------|--------------|
| 山田 雄三  | 経済と社会        |
| 武藤 光朗  | 福祉国家建設の問題点   |
| 伊部 英男  | 社会開発と社会計画    |
| 館 稔    | 社会開発と人口問題    |
| 清水 義弘  | 社会開発における教育計画 |
| 福武 直   | 社会開発と地域開発    |
| 塩野谷九十九 | 経済成長と物価問題    |
| 中野 徹雄  | 経済計画と福祉計画    |

高橋 武 社会保障の課題と方向——国際的動向を含めて——

曾根田郁夫 わが国年金制度の現状と問題点

孫田 良平 雇用・賃金問題の現状と課題

橋本 道夫 公害対策の現状と課題

41. 2. 11 社会保障研究所創立1周年記念講演会および記念パーティを、つぎにより盛大に行った。

・場 所 東京、帝国ホテル

・出席者 関係者約 70 名

・講演者 蠟山政道

・講演内容 「福祉開発の意義と条件」

7. 8 第1回社会保障教室をつぎにより開講した。

・場 所 社会保障研究所会議室

・出席者 官庁および民間の中堅職員等 18 名

・期 日 昭和41年7月8日～9月30日(3ヵ月間、12回)

・テーマ (主)山田雄三 経済体制と福祉政策  
(副)地主重美  
(主)地主重美 経済分析と社会保障  
(副)山田雄三

・中野徹雄 経済計画と社会保障

7. 18 第2回シンポジウムをつぎにより実施した。  
～19

・テーマ 「社会保障の体系化について」

・場 所 箱根、宮城野保養所

・出席者 山田雄三、河角泰助、江見康一、森健一、地主重美、前田正久、三浦文夫、谷 昌恒、平石長久、中村八朗、渡辺益男、都村敦子、花島政三郎、大本圭野、長谷川啓之

・日 程

(7月18日午後)

報告者：谷 昌恒「社会保障制度審議会の勧告および答申」「社会保障の体系と社会保障制度審議会」

コメンター：前田正久、中村八朗、花島政三郎、都村敦子

(7月19日午前)

報告者：森 健一「社会保障体系化への社会的要請とその限界」「社会保障研究の史的課題——イギリス社会保障の成立課程の覚え書——」

コメンター：三浦文夫、平石長久、長谷川啓之（7月19日午後）

報告者：江見康一「社会保障の体系化をめぐる」「社会保障の動向と医療費問題——都留重人編：新しい政治経済をもとめて——」

コメンター：地主重美、谷 昌恒、渡辺益男、大木圭野

10. 12 第2回社会保障研究所基礎講座——社会開発  
～15 セミナー——を厚生省後援のもとに、つぎにより開催した。

- ・場 所 東京、日本都市センター
- ・出席者 都道府県関係職員等 50 名
- ・講座内容

| 講 師    | テ ー マ                  |
|--------|------------------------|
| 山田 雄三  | 経済開発と社会開発              |
| 富永 健一  | 社会変動論                  |
| 馬場啓之助  | 経済成長と物価問題              |
| 伊藤 善市  | 都市開発と社会計画              |
| 中野 徹雄  | 経済計画と社会保障              |
| 寺尾 琢磨  | 社会開発と教育投資              |
| 高橋 武   | 社会開発と労働問題              |
| 小 山 路男 | 社会保障の課題と方向——国際動向を含めて—— |
| 小山進次郎  | わが国医療保障の現状と課題          |
| 橋本 道夫  | 公害対策の現状と課題             |
| 谷 重雄   | 住宅政策の現状と方向             |
| 松原 治郎  | 地域開発——総合開発計画——における福祉計画 |

42. 6. 27 昭和 42 年度公開研究発表会をつぎにより実施した。

- ・場 所 東京、神戸銀行虎の門支店会議室
- ・出席者 関係者 69 名
- ・発表テーマ  
地主重美 「社会保障と所得再分配効果——昭和 30 年～39 年の日本の経験——」

森岡清美 「家族周期と児童養育——生活構造を中心に——」

前田正久 「家族周期と児童養育——家計構造を中心に——」

10. 30 第3回社会保障研究所基礎講座——社会開発  
～11. 2 と社会保障セミナー——を厚生省後援のもとに、つぎにより開催した。

- ・場 所 東京、日本都市センター
- ・出席者 都道府県関係職員等 51 名
- ・講座内容

| 講 師   | テ ー マ                  |
|-------|------------------------|
| 伊部 英男 | 社会保障と社会開発              |
| 安川 正彬 | 社会保障と人口問題              |
| 氏原正治郎 | 労働問題と社会保障              |
| 森岡 清美 | 家族構造の変動と社会保障           |
| 福武 直  | 農村社会の変貌と社会保障           |
| 並木 正吉 | 地域開発と農業問題              |
| 中鉢 正美 | 社会保障の最低基準              |
| 地主 重美 | 社会保障の経済分析              |
| 江見 康一 | 社会保障と財政                |
| 佐口 卓  | わが国医療保障の現状と課題          |
| 平田富太郎 | わが国年金制度の現状と課題          |
| 橋本 正己 | 地域保険対策の現状と課題           |
| 近藤 文二 | 社会保障の課題と方向——国際動向を中心に—— |
| 今井 一男 | 経済計画と社会保障              |

43. 2. 10 社会保障研究所創立3周年記念シンポジウム  
およびパーティをつぎにより開催した。

- ・場 所 東京、弘済会館福祉センター
- ・出席者 関係学者等 80 名
- ・日 程  
(午前部)

報告者：大河内一男「社会保障と労働」  
都留重人「社会保障と経済」

コメンター：嶋田啓一郎、富永建一、加藤 寛  
司会者：今井一男

(午後部)

報告者：小山路男「社会保障の拠出と給付」  
小川喜一「同 上」

コメンター：佐口卓、江見康一、地主重美  
司会者：近藤文二

## VI 刊 行 物

## 1. 定期刊行物

季刊社会保障研究（昭和40年6月創刊，43年5月末現在通巻14号，うち別冊「社会開発特集」および「社会保障研究所シンポジウム特集」を含む。）

海外社会保障情報（昭和43年1月創刊——季刊，43年5月末現在通巻2号）

## 2. 翻訳双書シリーズ

No. 1 ILO 編「世界各国における社会保障の費用（1958～1960）」（40年3月）

No. 2 アメリカ保健教育福祉省編「世界各国の社会保障制度（1964）」（40年3月）

No. 3 R. M. Titmuss 著「福祉国家の理想と現実」（42年2月）

No. 4 M. S. Gordon 著「社会保障の経済分析」（42年3月）

No. 5 アメリカ保健教育福祉省編「世界各国の社会保障制度（1967）」（43年3月）

No. 6 ILO 編「世界各国における社会保障の費用（1961～1963）」（43年5月）

## 3. 所内研究資料

No. 6501 文献解説「社会計画の方法論に関する基礎問題」（40年10月）

No. 6502 議事録「シンポジウム『社会保障とは何ぞや』（その一）」（40年11月）

No. 6503 議事録「シンポジウム『社会保障とは何ぞや』（その二）」（41年2月）

No. 6504 中間報告「国民所得における社会保障費の統計的研究」（41年2月）

No. 6505 文献解説「社会指標と経済指標の相関」（41年3月）

No. 6506 議事録「シンポジウム『社会保障とは何ぞや』（その三）」（41年3月）

No. 6601 個人研究中間報告「日本における地域別統計による経済的要因と社会的要因との相関について」（41年6月）

No. 6602 文献解説「経済発展における所得の地域格差」（41年7月）

No. 6603 議事録「児童手当制度について，経済計画における社会保障」（41年8月）

No. 6604 文献解説「生活水準指数」（41年10月）

No. 6605 議事録「社会保障の体系化」（41年12月）

No. 6606 翻訳「ドイツ連邦共和国国内の社会保障——社会実態調査——」（42年3月）

No. 6701 中間報告「年金積立金運用の原理と運用方法」（42年5月）

No. 6702 中間報告「わが国の生活水準指数——国連方式による一試算大正14年～昭和40年——」（42年6月）

No. 6703 個人報告「山田渡敗報告」（43年1月）

No. 6704 中間報告「近郊都市の老人をめぐる社会的関係網」（43年2月）

No. 6705 議事録「医療保険と医療保障——改革試案の内容について——」（43年3月）

## 4. 単行本

「戦後の社会保障（本論）」（43年2月）

「戦後の社会保障（資料）」（43年3月）

## 5. その他

図書目録（41年9月）

Social Security in Japan（42年3月）

## VII そ の 他

40. 6. 28 フィリピン大学社会学部主任教授 O. アンガンコー氏来訪，山田所長と日本およびフィリ

ピンの社会開発に関する研究の現状について懇談。

7. 2 エカフェ社会局 E. スミス氏来訪，山田所長

等と社会開発におけるアジア諸国と日本の比較について懇談。

10. 1 シカゴ大学教授ジョージ・F.ローリック氏来所, 所長と懇談。
11. 9 アジア経済開発研究所長ナラヤン・プラサド氏来訪, 所長と懇談。
- 11.10 ISSA 文献委員会 (第1回)
- 11.29 「わが国における“Social Change”の問題に関する懇談会」開催。
41. 1.12 ISSA 文献委員会 (第2回)
  2. 4 大内基金設立準備委員会が開催され, 大内基金設置要綱が決定された。
  2. 9 ISSA 文献委員会 (第3回)
  - 2.11 第1回「社会保障研究奨励賞懸賞」論文の募集要領をつぎのとおり発表した。
    - ・主催: 大内基金委員会 後援: 社会保障研究所 協賛: 厚生省
    - ・論題 「わが国社会保障の将来について」
    - ・応募資格 特に制限しない
    - ・枚数 200 字詰原稿用紙 80~100 枚程度
    - ・締切 昭和 41 年 8 月 31 日
    - ・賞金 1 席 10 万円, 2 席 5 万円, 佳作数編
    - ・審査委員 山田雄三, 鈴木武雄, 馬場啓之助, 福武 直, 小山進次郎, 高橋 武, 小山路男
  4. 4 ISSA 文献委員会 (第4回)
  5. 9 ISSA 文献委員会 (第5回)
  7. 4 エカフェ社会部主任 D. Moses 氏来訪, 所長と懇談。
  7. 8 ISSA 文献委員会 (第6回)
  7. 8 会計検査院会計検査実施
  - 8.31 第1回「社会保障研究奨励賞懸賞」論文の応募締切 (応募作品 18 編)
  - 10.11 ISSA 文献委員会 (第7回)
  - 10.25 第1回「社会保障研究奨励賞」懸賞論文審査委員会が開かれ, つぎの入選者が内定した。
    - ・入選 1 席  
横山和彦 (日本社会事業大学助手) 「わが国社会保障の将来について——とくに老齢保障を中心に——」
    - ・入選 2 席  
榎本貴志雄 (伏見診療所・西陣労働センター所長) 「医療保障の将来について」
  - 10.28 第1回大内基金委員会が開催され, 第1回「社会
- 会保障研究奨励賞」の入選者が審査委員会の内定どおり決定された。
11. 2 第1回「社会保障研究奨励賞」入選者の新聞発表。
11. 4 第1回「社会保障研究奨励賞」入選者の表彰式が, 社会保障研究所所長室で今井委員立会いのもとに行われた。
- 12.19 オーストラリア, モナシュ大学政経学部教授 J. E. アイザック氏来所, 所長, 地主, 平石所員と懇談。
42. 1.12 ユニセフ (国連児童基金) 中南アジア本部の Senior Planning Officer の Mr. G. V. Subba Rao 来訪, 所長および保坂哲哉氏と研究の交流について懇談。
- 1.18 ISSA 文献委員会 (第8回)
2. 8 バンコック, タマサット大学 Mr. Adul Wichiencharoen 来所, 所長と懇談。
- 2.14 第2回「社会保障研究奨励賞」の募集要領をつぎのとおり発表した。
  - ・主催: 大内基金委員会 後援: 社会保障研究所 協賛: 厚生省
  - ・テーマ 社会保障制度に関する学術研究論文であって, 昭和 41 年 2 月 1 日から昭和 42 年 7 月 31 日までに発表されたもの
  - ・締切 昭和 42 年 8 月 31 日まで
  - ・賞金 1 席 10 万円, 2 席 5 万円, 佳作数編
  - ・審査委員 山田雄三, 鈴木武雄, 馬場啓之助, 福武 直, 小山進次郎, 高橋 武, 小山路男
4. 7 ISSA 文献委員会 (第9回)
- 6.22 海外社会保障情報編集委員会準備会 (第1回)
- 7.10 ISSA 文献委員会 (第10回)
- 7.14 海外社会保障情報編集委員会 (第2回)
- 7.15 昭和 43 年度新規職員 (研究員助手) 採用試験
- 7.22 ILO 樋口富男氏来所, 所長と懇談。
- 8.10 フィリピン, ミンダナオ・ステート・ユニバースティの J. アグバヤニ氏来所, 所長および小沼, 三浦所員と地域開発について懇談。
- 8.10 厚生省会計監査実施
- 8.15 ユニセフの E. イワツキブイツ氏および B. ジョンズ氏来所, 所長と懇談。
- 8.31 第2回「社会保障研究奨励賞」授賞論文推薦締切 (推薦作品 23 編)

9. 8 海外社会保障情報編集委員会（第3回）  
9. 16 山田所長，スイス，ベルギー，ノルウェー，  
フィンランド等各国の社会保障調査のため出張  
10. 16 山田所長海外社会保障調査より帰国。  
10. 19 海外社会保障情報編集委員会（第4回）  
10. 23 ISSA 文献委員会（第11回）  
10. 25 第2回「社会保障研究奨励賞」授賞論文審査  
委員会が開かれ，つぎの入選者が内定した。  
・入選 荒木誠之（熊本大学教授）「社会保障の  
法的構造——その法体系試論——」（二・完）  
・入選 中桐宏文（国立国会図書館財政金融課）  
「社会保障制度の経済安定化機能」  
・入選 藤井良治（厚生省保険局調査課）「フラ  
ンスの社会保障」  
10. 26 第2回大内基金委員会が開かれ第2回「社会  
保障研究奨励賞」の入選者が審査委員会の内定  
どおり決定した。  
11. 8 第2回「社会保障研究奨励賞」授賞論文の新  
聞発表。  
11. 9 第2回「社会保障研究奨励賞」入選者の表彰  
式が，社会保障研究所所長室で今井委員立会い  
のもとに行われた。  
12. 9 韓国社会事業大学校長李泰栄氏来所，所長と  
懇談。  
12. 18 海外社会保障情報編集委員会（第5回）  
12. 19 エカフェの P. D. クルカルニ氏来所，所長と  
懇談。  
43. 1. 22 ISSA 文献委員会（第12回）  
1. 23 エカフェ社会局，E. スミス氏来所，所長お  
よび谷，平石所員と懇談。  
1. 26 第3回「社会保障研究奨励賞」懸賞論文の募  
集要領をつぎのとおり発表した。  
・主催：大内基金委員会 後援：社会保障研究  
所 協賛：厚生省  
・論題 社会保障に関する論文（論題は自由）  
・応募資格 特に制限しない。ただし未発表論  
文に限る。  
・枚数 200 字詰原稿用紙 80 枚～100 枚程度  
・締切 昭和 43 年 8 月 31 日  
・賞金 1 席 10 万円，2 席 5 万円，佳作数編  
・審査委員 山田雄三，鈴木武雄，馬場啓之助，  
福武 直，小山進次郎，高橋武，  
小山路男  
2. 23 韓国の社会保障審議会企画室長，崔千松氏来  
所，所長と懇談。  
3. 13 アメリカ，コロラド医科大学の Barry Millen  
氏来所，所長および地主，三浦，村山所員と懇  
談。  
3. 15 海外社会保障情報編集委員会（第6回）  
3. 19 山田所長が日米文化教育事業委員会の日本側  
代表として渡米（25 日まで）。